



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた
「日本伝道の推進を祈る日」です

共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを
2教区（東京は支区）ずつ紹介します。
全国の教区・教会・伝道所を覚えて
祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

日本基督教団伝道推進 基本方針

- 祈禱運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436

祈りの課題

東京教区東支区

- 中高生連合キャンプのために。
- 伊豆諸島の教会・伝道所のために。
- 山谷地区の3つの伝道所(山谷、日本堤、山谷兄弟の家)それぞれの働きのために。

郵便振替 00180-2-178059

「日本基督教団東京教区東支区」

東京教区

- 日本基督教団隠退教職ホーム
「にじのいえ信愛荘」のために。
- 郵便振替 00100-9-293408
「全国教会婦人会連合にじ信協力金
特別会計」

東京教区

青梅にある日本基督教団隠退教職ホーム「にじのいえ信愛荘」は、2010年に日本基督教団の2つのホーム、「信愛荘」と「にじのいえ」が合併して誕生しました。

東京教区は、西東京教区、全国教会婦人会連合と共に祈り、献げ、運営委員を送っています。入荘者は教団の隠退教師とお連れ合いです。公的助成はありません。運営資金の約6割は全国の教会、学校、諸団体と個人からの献金です。残りの4割は入荘者の荘費と2教区、全国教会婦人会連合、「隠退教師を支える運動」からの協力金です。チャリティーコンサートも開催してきましたが、今はコロナ禍で開催できません。入荘者の高齢化が進んでいます。また、スタッフにも高齢化の波が押し寄せていますが、新型コロナウイルス感染症予防対策と入荘者の健康管理のため、身を粉にして働いてくださっています。

荘では朝の礼拝で一日が始まり、皆で祈ることを大切にしています。主日礼拝では、以前は入荘者が説教を担当していましたが、今は高齢化のため外部への依頼が増えました。主日礼拝を守り、主の慈しみと恵みを



2021年7月9日、「にじのいえ信愛荘」で生活する隠退教師とお連れ合い

皆で分かち合うことに変わりはありません。コロナ禍のため、元気な方たちの楽しい散策もできなくなりました。運動不足は深刻です。そのため青梅市推薦の介護予防体操を毎日15分間続けています。また「折り紙の会」を開いて気分転換を図っています。「にじのいえ信愛荘があるから、隠退するまで安心して主に仕えることができました」。伝道に生涯を捧げた教職の方々の証しに、いつも勇気づけられています。私たちにもにじのいえ信愛荘を覚えて祈りましょう。

（東京教区総会議長 岸 俊彦）

東京教区 東支区

東支区中高生連合キャンプは、例年夏に開催されています。支区を分区分と呼んでいた時代に始まり、今年度で56回目を数えます。2020年、2021年はコロナ禍で集まれませんでした。リモートで開催し、途切れることなく続けられています。

キャンプは支区教育部委員会の活動として、企画・運営されています。大学生や20代、30代の信徒がリーダーとして立てられます。リーダーたちは全員洗礼を受け、キリストの頭なる教会に連なる者たちです。中高生たちが若いリーダーの姿に励まされ、

良い関係を築いています。

東支区の特徴として、下町の小規模教会の多いことが挙げられます。また伊豆諸島の教会、山谷地区もあります。少人数の教会には中高生のための集会を開くことが難しい現実があります。キャンプはそのような教会の中高生たちに、信仰の友による励ましを与える場所です。また進学、就職のために島を出る中高生に教会を紹介する場ともなっています。さらには、教会には誘いにくい学校の友だちを誘う、伝道の機会として中高生もいるのです。

卒業した中高生たちがキャンプ伝道の思いを与えられて、リーダーとして加わることもあります。そしてリーダーを卒業して、教会を支える者となる。彼らがそれぞれの教会において賜物を生かし、仕えている姿に大きな励ましを受けています。

このキャンプを通して、毎年のように受洗者が与えられてきました。キャンプでは牧師、リーダーとの1対1の祈りの機会もあり、自分たちが教会にどれほど祈られているか実感する時となっています。

このキャンプの働きと中高生のことを覚えていただければ幸いです。

（東京教区東支区書記 堀川 樹）



2019年東支区中高生連合キャンプで